

大会名 Competition	平成24年度 第23回東北高等学校 男女新人バスケットボール選手権大会
No. 215	Year Month Day Time 2013 年 2 月 3 日 12 : 30
場 所 Place	秋田市立体育館



秋田県高等学校体育連盟
バスケットボール専門部

チーム A		チーム B															
郡山商業	<table border="1"> <tr><td>13</td><td>1st</td><td>11</td></tr> <tr><td>4</td><td>2nd</td><td>15</td></tr> <tr><td>23</td><td>3rd</td><td>15</td></tr> <tr><td>18</td><td>4th</td><td>7</td></tr> <tr><td colspan="3">OT</td></tr> </table>	13	1st	11	4	2nd	15	23	3rd	15	18	4th	7	OT			湯沢翔北
13	1st	11															
4	2nd	15															
23	3rd	15															
18	4th	7															
OT																	
58		48															
○		●															

主審:Referee
北沢 あや子 (岩手)
副審:1stUmpire
熊谷 久美子 (青森)
副審:2ndUmpire
植田 浩司 (福島)
テーブルオフィシャルズ:Table officials
秋田県立金足農業高等学校

No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3 P	2 P	FT	F	No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3 P	2 P	FT	F
4	×	藤澤 彩香	CAP	12	2	3	0	2	4		藤原 麻都		-	-	-	-	-
5	×	齋藤 未帆		4	0	1	2	3	5	×	大野 真湖	cap	4	0	2	0	4
6	×	鶴見 綾香		8	0	2	4	-	6	×	松田 有紀		13	0	3	7	1
7	/	本田 萌		0	0	0	0	-	7	×	阿部 優美香		13	3	2	0	2
8		鈴木 愛咲美		-	-	-	-	-	8		高橋 忍		-	-	-	-	-
9		今泉 玲子		-	-	-	-	-	9	×	最上 朝香		15	0	7	1	5
10		野口 汐音		-	-	-	-	-	10	/	高橋 奈々		0	0	0	0	-
11		岡部 真季		-	-	-	-	-	11	×	須田 久瑠実		3	1	0	0	2
12	×	井上 奈央子		21	1	7	4	3	12		佐藤 南		-	-	-	-	-
13	×	加藤 美紅		13	0	6	1	2	13	/	佐々木 美咲		0	0	0	0	-
14		齋藤 理沙		-	-	-	-	-	14		佐藤 千秋		-	-	-	-	-
15		渡辺 汐美		-	-	-	-	-	15		大山 夏穂		-	-	-	-	-
16		関口 英里		-	-	-	-	-	16		柿崎 瑞季		-	-	-	-	-
									17		和泉 華音		-	-	-	-	-
									18		齊藤 楓		-	-	-	-	-

コーチ 松本 理
Aコーチ 鈴木 由美子
合計 58 3 19 11 10

コーチ 樋渡 真裕
Aコーチ 熊谷 伝裕
合計 48 4 14 8 14

※×:スター /:交代選手 PTS:ポイント 3P:3Pポイントシュート 2P:2Pポイントシュート FT:フリースロー F:ファウル

女子決勝戦は、両チームともに初優勝を狙う郡山商業と湯沢翔北との対戦となった。オールコートマンツーマンの郡山商業に対し、湯沢翔北は、ハーフコートマンツーマンで応戦。序盤、両チームともに硬さが見られ、パスミス連続しなかなかシュートを決められず、膠着した状態が続き、13-11の郡山商業リードで第1ピリオドを終える。

第2ピリオド開始早々、湯沢翔北 #5大野がジャンプシュートを決め、その後も #7阿部、#6松田が立て続けに加点し、逆転に成功し、さらにリードを広げる。5分間、ノーゴールの郡山商業は、たまたらにタイムアウト。その後、粘り強いディフェンスからスティールを狙い速攻に持ち込むが、シュートが決まらず、湯沢翔北の流れのまま、17-26で前半を終了した。

第3ピリオド、郡山商業がオールコートのゾーンディフェンスに変え、ゲーム展開を早くし、リズムを取り戻そうとする。それに対し、湯沢翔北はミスはあったものの着実に得点し、一進一退の攻防が続いた。残り4分、郡山商業 #6鶴見が、ドライブインでファウルをもらいフリースローを2本決める。その後も #4藤澤、#13加藤が連続加点し、36-37の1点差に詰め寄る。その後、お互いに加点し、40-41で湯沢翔北のリードで終了する。

第4ピリオド、湯沢翔北はゾーンディフェンスに変え、リードを広げようとするが、ことごとくディフェンスリバウンドを奪われ、郡山商業の攻撃が続く。郡山商業は #4藤澤のスリーポイントシュートで逆転に成功。その後も #4藤澤の連続シュートで一気に突き放しにかかる。湯沢翔北はたまたらにタイムアウトをとり、巻き返しを図るが、流れは変えられず、その後も郡山商業が確実に試合運び、58-48で郡山商業が初優勝を飾った。